2550 宇都宮ロータリークラブ会報

意識を喚起し一進んで行動を　心のこもった奉仕を目指そう

2000～2001年度 R.I.会長 フランクJ・デブリン　　2000～2001年度 会長 齋藤一郎
第2550地区ガバナー 半田久一　　2000～2001年度 幹事 河上靖夫

■例会日 金曜日12時30分より ■例会場 宇都宮ロイヤルホテル 宇都宮市江野町11-16
■事務所 宇都宮ロイヤルホテル 530号室 TEL 028-632-0530 FAX 028-632-0560

(2000) 平成12年7月28日 No.2418回 2000～2001年度（第4回会報）
会員数 134名　出席者 79名　出席率 79.7%　前回修正出席率 82.8%

MU：真下 進、篠崎昌平、斉藤高蔵

ビジター紹介（石下和毅親睦活動委員長）

川俣俊雄（宇都宮北RC）
竹内陶子（ゲストスピーカー）

報告事項

情報委員会（篠崎昌平）

①今年度は会報に「ロータリーミニ情報」を掲載することとしました。身近で親しみやすいミニ情報をお届けしたいと思います。入会間もない会員の方は特にご覧いただきたく思います。

②テーブルミーティングとクラブフォーラムは情報の分野ですので、各テーブルで早めにミーティングを開いていただくようお願いします。一名2000円の補助が出ますので、有効に活用して下さい。財政事情も御斟酌の上、出席者の実人数でご請求下さるようお願いします。また、最近は親睦に片寄りがちとのご指摘もありますので、ミーティングの初めにロータリーのことも話題に入れて欲しいと思います。

③年度始めですので、各委員会におかれましては早めに会合を開いていただきたく、委員長さんはよろしくお願いいたします。

前年度親睦活動委員会（長谷川 正）

市内9クラブ親睦ゴルフ大会の義損金を北海道有珠山火山活動災害対策のため、日本赤十字社北海道支部に寄託しましたところ、お礼状が届いていますので、ご報告いたします。

ニコニコBOX委員会（宮本隆昌）

奥様誕生祝：宮田初男、小針直哉、飯村一猛
BHテーブルミーティング残金
矢島昭司：7月16日栃木会館クラブゴルフ例会において、年令の差で優勝しました。
吉田一久：7月21日早退しますので。

プログラム委員会（藤原宏史）

本日は大変素敵なゲストスピーカーをお招きしていますのでご紹介いたします。NHK朝のニュースでおなじみの竹内陶子さんです。竹内さんは愛媛県大洲市のご出身で、平成3年にNHKにご入社され、松山を振り出しに大阪を経て、平成9年から東京で「おはよう日本」のニュースキャスターを勤めていらっしゃいます。趣味はウクレレ・手紙を書くこと・音楽会に出かけること、特技は創作料理で、お煮物が得意とうかがっています。朝一番の元気を視聴者にお伝えすることがご自分のモットーとおっしゃっています。それではよろしくお願いいたします。

卓話「ニュースの現場から」

NHKおはよう日本 キャスター 竹内 陶子様

ご丁寧な紹介をありがとうございました。料理のことは、あれは書いているだけなんですけれども。あらためまして、竹内でございます。

「ニュースの現場から」という硬い題名ですいが、普段の放送からは見えない、ニュースの裏側の事をお話ししたいと思います。

私は四国の出身で、東京に来て4年目になります。東京より北に初めて行ったのは那須の温泉でした。宇都宮の土谷支局長から、宇都宮の餃子をご馳走するから、と言われて楽しみにして来ました。

私の生活は大変ハードです。朝7時から8時13分まで、毎朝、生でニュースを伝えていますが、朝起きるのは2時30分です。目覚まし時計を3個使って眠気と戦い、何とか起きています。この仕事はだいたい3年くらいで交替するのですが、一応は好評ということで、前人未到の4年目に入りました。3時半に、この時間帯は電車がありませんので、お迎えの車が来て出勤します。4時から打ち合わせが始まります。NHKホールは不夜城で、この時間でも120人のスタッフが働いています。4時から7時までは準備と打ち合わせの時間です。生放送ですから、何が入ってくるか分かりません。何も無いときは平穏なのですが、何か事件が起こった時は大騒ぎになります。昨日はコンコルド墜落のニュースがあり、

卓話予定

8月11日　「ロータリー情報委員会から」
（ガバナー公式訪問を間近にして）
篠崎昌平ロータリー情報委員長

8月18日　「川崎フロンターレJ1昇格の背景」
J1川崎フロンターレ社長
松本郁夫様

1．真実かどうか　2．みんなに公平か
3．好意と友情を深めるか　4．みんなのためになるかどうか

会報委員 光内 俊雄 会員
写 真 小牧 俊夫 会員

映像とか原因をめぐって、いろんな人の声と怒号が飛び交いました。いかに早く出すか、いろんな方法で正しく早く伝えるのがニュースの真髄だと思います。この仕事をしているとだんだんせっかちになります。早く原稿が欲しいのですが、常に原稿が揃っている訳ではなく、いつ何が起こるかも分からない中で、仕事をしております。

私は、アナウンサーになって今年で10年目に入りました。初任地は、本当は全く知らない土地に行ってみたかったのですけれども、地元松山で、「おはよう愛媛」を担当しました。次に大阪に行き、一年後「おはよう近畿」を担当しました。そしてとうとう東京で、「おはよう日本」を担当することになりました。スポーツ新聞は見出しに命をかけている部分があって、当時「竹内アナウンサー、おはようの全国制覇」とか書かれました。また、私は人から「顔が濃い」と言われます。入社当時、同期のカメラマンから、あなたは顔が濃いから朝には向かない、と言われました。ところがどういう訳か、もう8年も、朝ばかりやっています。この仕事をしていると、世界中の人からお手紙を貰うのですけれども、ブラジルでは時差があり、夕方5時に見ているから、あなたの濃い顔も、気にならないと言われました。

ＮＨＫのアナウンサーは日本に500人くらいいます。そのうち女性は50人位で、東京には20人位しかいません。松山では32年振りの新人と珍しがられ、私大きいものですから「一輪の大木」とか言われて、可愛がられ、また、鍛えられました。

「おはよう日本」を担当していると、その日の生のニュースに触れる事が出来、どこよりも早く伝えられるのが醍醐味です。また、インタビューのコーナーがあり、今まさに旬の人にインタビュー出来るのも、楽しい仕事です。これまで40人以上の人にインタビューして来ました。その中で、強く印象に残った人の一人に、冒険家の大場満郎さんがいます。大場さんは山形県最上町のご出身で、北極とか南極を一人で横断してしまいます。凍傷で、足の指全部、手の指を2本、なくしていらっしゃいます。指が無いと、バランスが悪くて歩けないのだそうです。また、無いはずの指先が痛かったり、かゆい事もあるそうです。ここから先は指がないんだぞと、体に言い聞かせるために荒療治をして、歩けるようにして、また冒険に出かけるのだそうです。どうしてそこまでして冒険をするのか、聞きましたところ、一言「自立した男になりたいから」と答えました。北極や南極では、ブリザードで前が全く見えなくなることもある、一日歩いても氷が動いて距離が稼げないこともある、食料が切れて氷の上でテントを張り、遺書を書いて一週間寝て過ごす事もある。そういう状況の中でも自分に打ち克つことが出来る人になりたい、とおっしゃっていました。今は山形で、子供たちに自立することを教える活動をしていらっしゃいます。

北方謙三さんも強く印象に残っている方です。ハードボイルド、男のロマン、イメージ通り、やっぱり渋く決めた方でした。ハードボイルド作家が三国志を書いている、ということでお呼びした訳ですが、話の内容は実はよく覚えていません。ところが、その後の事をよく覚えているのです。お礼状を送りましたら、お返しに真っ赤な装丁の本を贈ってきて下さいました。中に、「竹内陶子さま　深紅のバラに替えて　北方謙三」と書かれてありました。もちろん、「バラ」の字は、漢字の「薔薇」を、すらすらと書いてありました。

このお仕事をしていると、いろんな人からお手紙をいただきます。こちらが思いもかけないようなことを、書いてきていただきます。松山時代から見ていただいている方は、自分の娘のような思いで、見ていただいているようです。大体、お手紙を下さる人というのは、よほど強く印象に残ったか、あるいは、時間の豊富な方です。私のストライクゾーンは68歳から80歳くらいで、旧仮名使いで「おはやう日本」とか、書いてきて下さる方が多いです。たくさんの方からお手紙をいただいて、ありがたいことです。

朝早起きすると、私はよく食べます。3時、7時、10時、お昼、夕方、毎日5食とっていると、太るのが悩みです。もうひとつの悩みは、私は目が大きいので、目の下に負担がかかって「くま」が出来ます。放送では、この竹内の「くま」が気になって仕方がない、という方がいるようです。この前、80歳のおばあちゃんから、何度もお手紙をいただいて、是非「くま」をなくすように言われました。一念発起して、真っ白に塗ったら、早速お手紙をいただき、今朝の竹内は白く表情が明るく見えて安心した、と書いてきてくださいました。また、髪のねぐせとか、エリが立っているとか、非常に細かいことに目が行って、ニュースで伝えたい本質が伝わらないことがあります。余分なことに視聴者の神経を使わせないことも大事なことだと思います。気象情報は田代さんのご担当なので、「それでは気象情報です。田代さんお願いします。」とやればよいのですけれども、ちょっとひねって、「田代さんのお天気です。」とやっていました。私としてはこの言い方が気に入っていたのですが、ある日お手紙をいただきました。どうしても「田代さんノーテンキです。」と聞こえて、気になって仕方がない、というのです。これは、言われてみれば目からうろこで、反省しました。

この頃は明るいニュースが少なく、伝えていてつらくなるようなものが多いように思います。読んでいて、泣きそうになるのもあります。ニュースは中道でいかねばなりませんが、悲しいことも、腹の立つこともあります。朝一番の放送なので、良い一日になるように、元気が出るようにと、心がけています。朝は元気な風を送りたいと、来年の３月までは、毎朝お茶の間にお伺いします。これからも是非１チャンネルＮＨＫをつけてください。本日はどうも有難うございました。

斎藤会長挨拶

竹内さん、どうも有難うございました。今年度初めてのゲストスピーカーでしたが、大変すばらしいスピーチでした。これからもますますご活躍いただきたいと思います。ありがとうございました。